

キュービーネットホールディングス株式会社

2020年6月期 第2四半期 決算説明資料

2020年2月17日



I 2020年6月期 第2四半期実績

II 2020年6月期 下期計画

2020年6月期第2四半期 グループ連結業績（サマリー）



- 2019年2月の国内の価格改定の影響により、2020年6月期第2四半期は大幅な増収増益
- 通期業績予想は変更無し

通期グループ連結業績（サマリー）

単位:百万円	2020/6期第2四半期					2020/6期通期		
	実績	前期比(%)	予想	前期比(%)	達成率	予想	前期比(%)	進捗率
売上収益	11,111	110.1%	11,129	110.3%	99.8%	22,342	107.1%	49.7%
営業利益	1,214	143.0%	1,225	144.3%	99.0%	2,200	111.7%	55.2%
税引前利益	1,145	141.3%	1,180	145.6%	97.0%	2,112	111.4%	54.3%
当期利益	761	130.7%	778	133.7%	97.8%	1,403	110.3%	54.2%
基本的1株当たり 当期利益	60円79銭		62円37銭			112円42銭		
1株当たり配当額	—		—			19円00銭		

国内

- 既存店の店舗売上高前年比は、価格改定の影響もあり順調に推移
- QB HOUSE：12店舗の新規オープン、移転4店舗、リニューアル6店舗、増席6店舗、主に貸主都合による閉店8店舗、業務委託先の店舗を直轄（直雇用）へ契約変更20店舗
- 2019年7月に研修施設（ロジス）の仙台校を開校（国内5ヶ所目）
- 価格改定に伴いスタイリストの待遇改善を2019年8月給与改定時に実施
- 2019年10月の消費税の増税時、QB HOUSEは税込価格を据え置き、FaSS（ファス）は税込2,160円を税込2,200円へ変更

海外

- 香港：3店舗の新規オープン、移転1店舗
2019年7月より60HK\$→70HK\$（16.7%アップ）へ価格改定を実施、来店客数減の影響は想定の範囲内で推移

	改定前価格	改定後価格
香港の価格改定	60HK\$（約840円）	70HK\$（約980円）

- シンガポール：2019年8月に「QB HOUSE Premium」1店舗を新規オープン、移転を1店舗実施
- 台湾：2019年12月に1店舗の新規オープン、閉店1店舗
- アメリカ：ニューヨーク1～3号店の売上、店舗利益は順調

新店（国内）

【ショッピングセンター・商業施設】

- ららぽーと沼津(静岡)
- キャンパススクエア(兵庫)
- イオン藤井寺ショッピングセンター(大阪)
- パークシティ武蔵小山ザ・モール(東京)
- イトヨーカドー国領(東京)
- グランベリーパーク南町田(神奈川)
- 津田沼パルコ(千葉)
- テラスモール松戸(千葉)
- 本八幡駅前(千葉)
- サンエー具志川メインシティ(沖縄)

【駅】

- 近鉄布施駅(大阪)

【路面】

- 高槻センター街(大阪)

増席（国内）

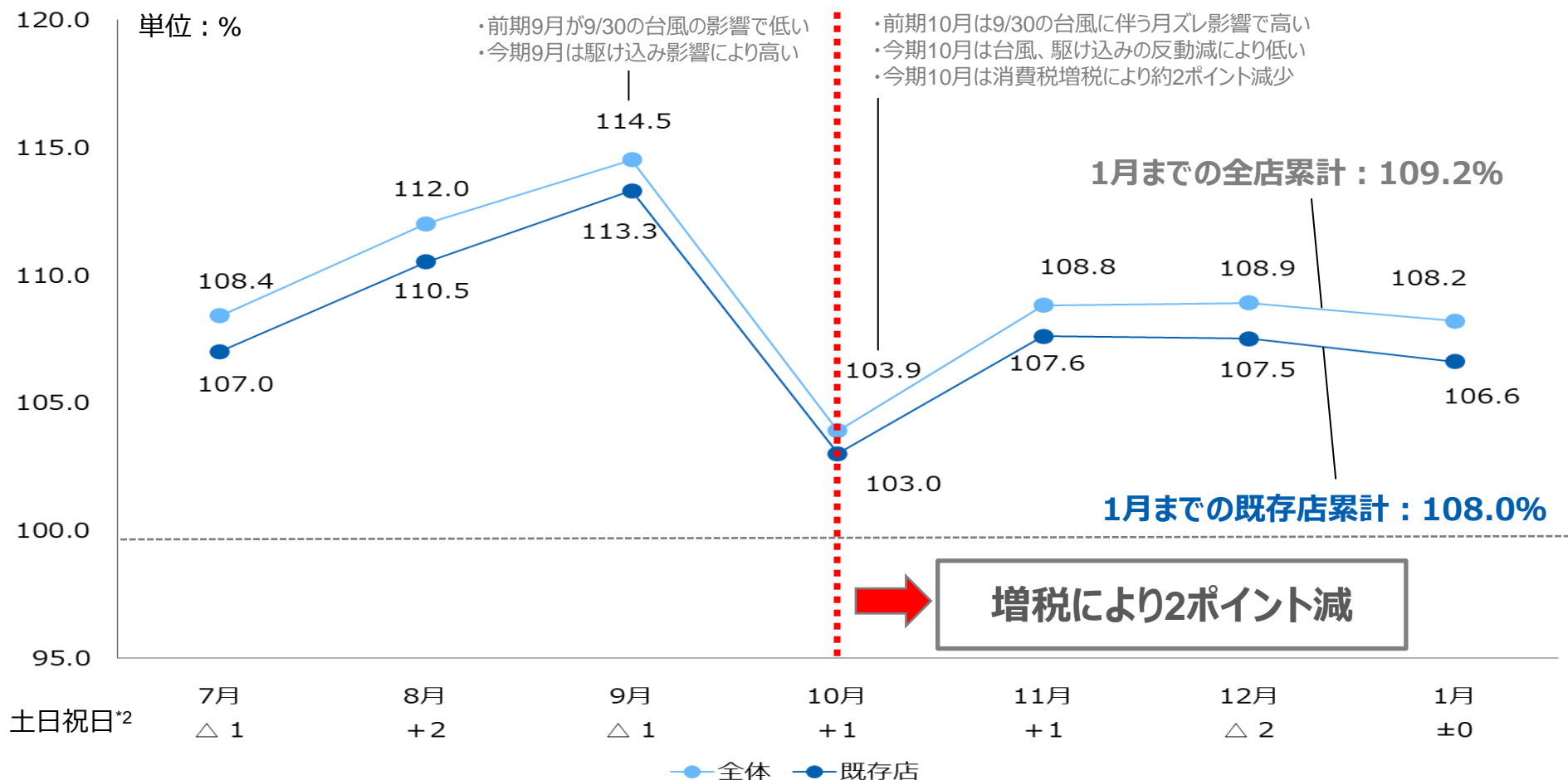
- mozoワンダーシティ(愛知)
- イオンモール京都五条(京都)
- カリーノ江坂(大阪)
- 博多マルイ(福岡)
- グランエミオ所沢(埼玉)
- ゆめタウン呉(広島)

国内店舗月次売上高（税抜）の前年比の推移



- 2019年10月の増税時にQB HOUSEの価格を据え置いたことにより、税抜売上高の前年比は2019年10月から増税分の2ポイントが減少

2020年6月期 国内店舗月次売上高（税抜）の前年比*1



*1 既存店とは前々期期首から期末まで通年で稼働し、今期も稼働している店舗。国内店舗（FC店・FaSSを含む）のデータであり、海外店舗分は含まず
 *2 2019年6月期の同月と比較した場合の土日祝日数

- 17店舗の新店、6店舗の移転、11店舗の閉店（移転に伴う閉店を含む）
- 閉店は、国内の2020年のオリンピックに向けた駅改良工事やショッピングセンターのスクラップ＆ビルドに伴う施設閉館等に伴うもの。近隣への店舗移転に注力

単位：店舗	業態	2019/6期末	新店	移転	閉店（※1）	増減	第2四半期末
日本	QB HOUSE	554	12	4	△8	8	562
	FaSS	13	0	0	0	0	13
国内小計		567	12	4	△8	8	575
シンガポール	QB HOUSE（※2）	26	0	1	0	1	27
	QB HOUSE Premium	7	1	0	0	1	8
	Kids	3	0	0	0	0	3
香港	QB HOUSE	60	3	1	△2	2	62
	QB PREMIUM	1	0	0	0	0	1
台湾	QB HOUSE	27	1	0	△1	0	27
アメリカ	QB HOUSE	3	0	0	0	0	3
海外小計		127	5	2	△3	4	131
連結グループ合計		694	17	6	△11	12	706

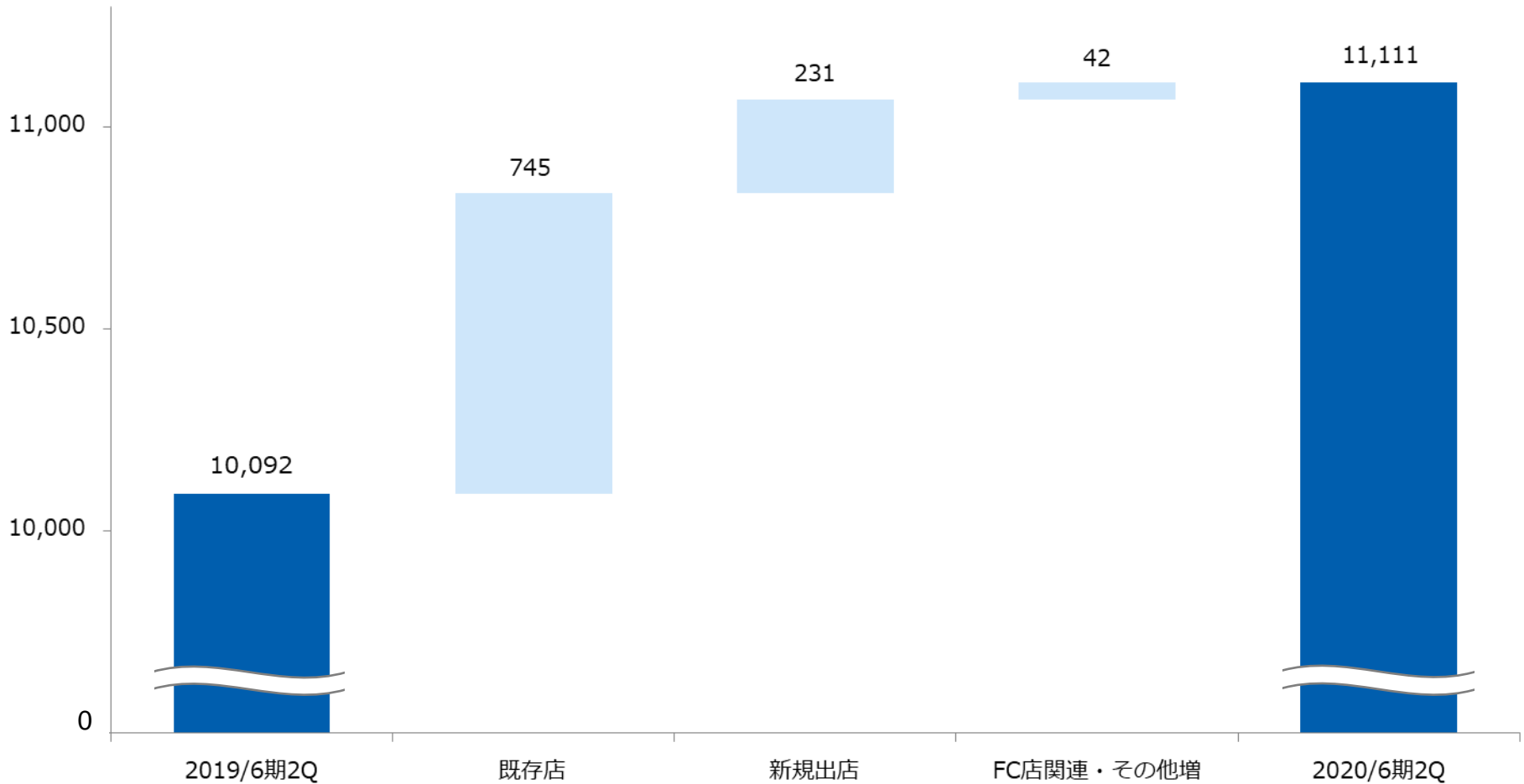
（※1）閉店数は移転に伴う閉店を含む

（※2）シンガポールの移転1店舗は前期（2019年6月）に閉店し、8月に移転オープン

- 売上収益の増加については、新店及び2019年2月からの国内QB HOUSEの価格改定、2019年7月からの香港の価格改定の影響などにより、1,019百万円増収

単位：百万円

前期比：110.1%

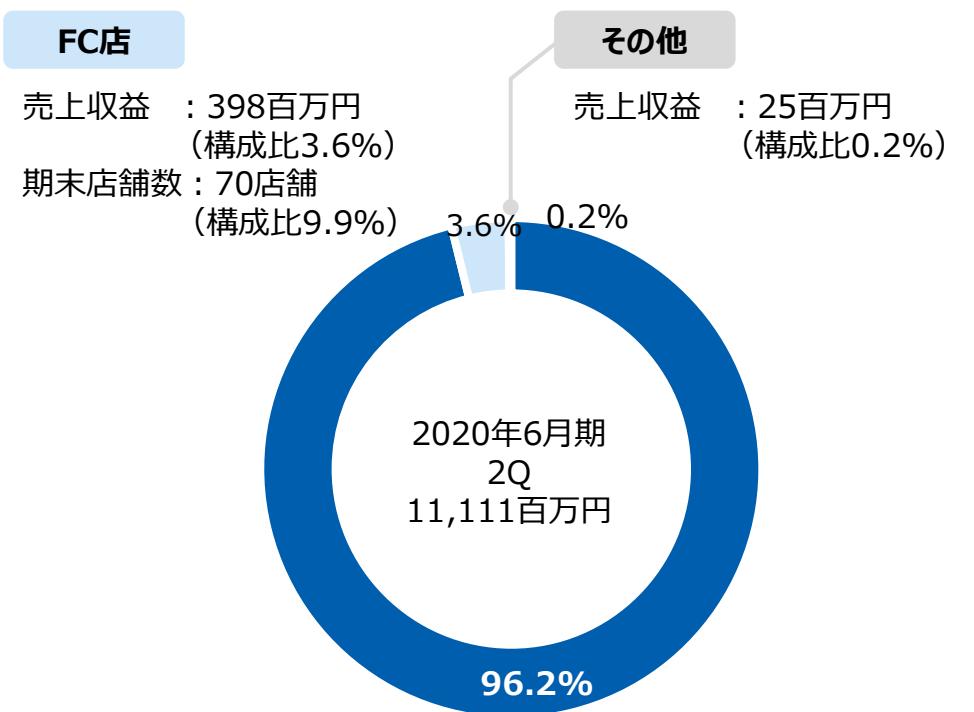


直営店

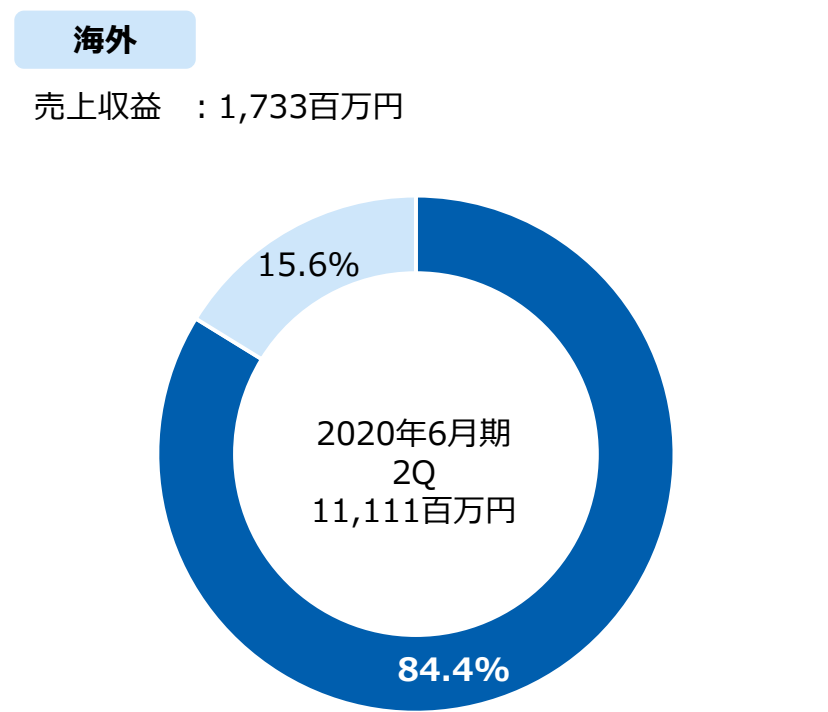
※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

売上収益の直営店比率は96.2%、海外の比率は15.6%

運営形態別売上収益構成



地域別売上収益構成



直営店

売上収益 : 10,687百万円
(構成比96.2%)
期末店舗数 : 636店舗
(構成比90.1%)

国内

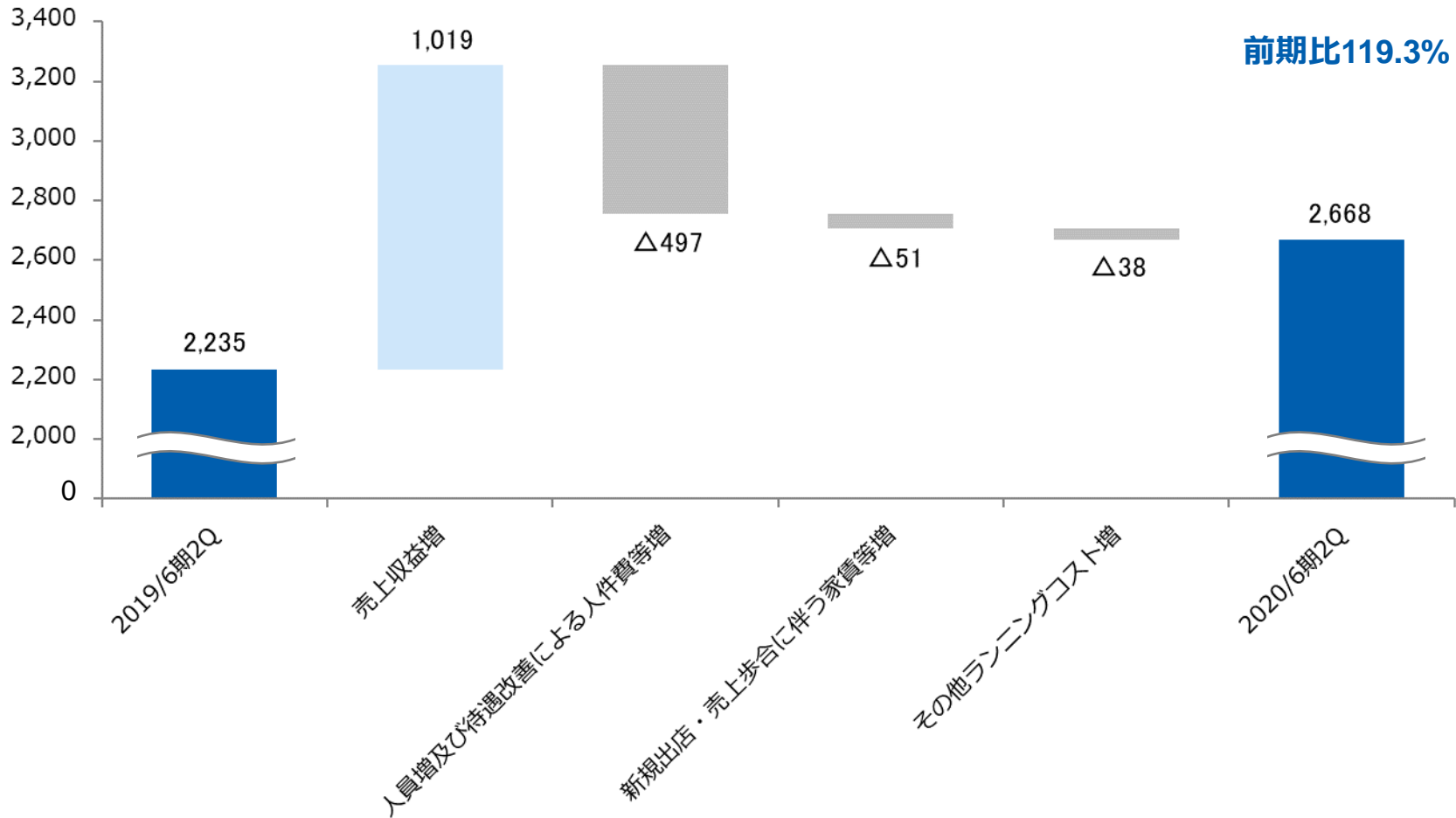
売上収益 : 9,377百万円

売上総利益（粗利）の増減分析



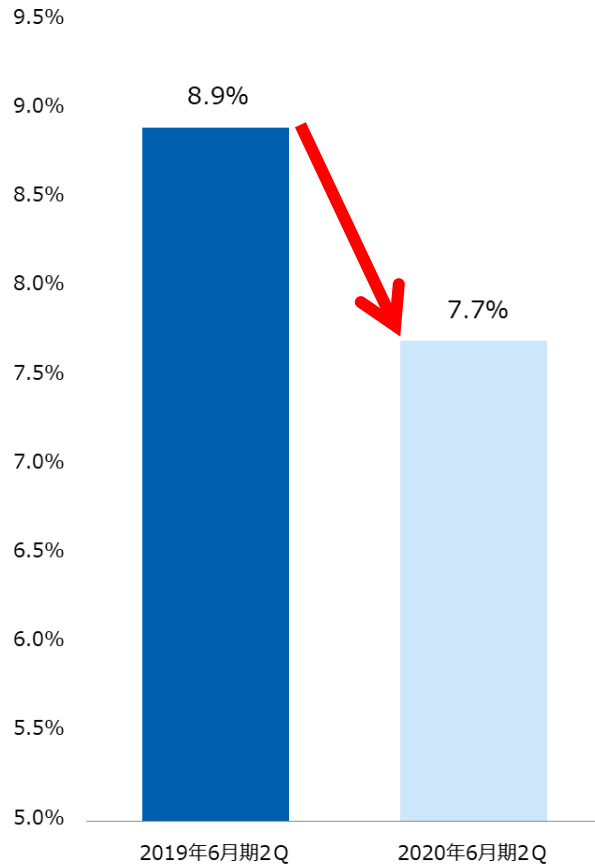
- 粗利については、売上収益が増加した一方で、人員増及び待遇改善に伴う人件費等増、新店・売上歩合に伴う家賃等増などにより売上原価が増加し、432百万円増益

単位：百万円

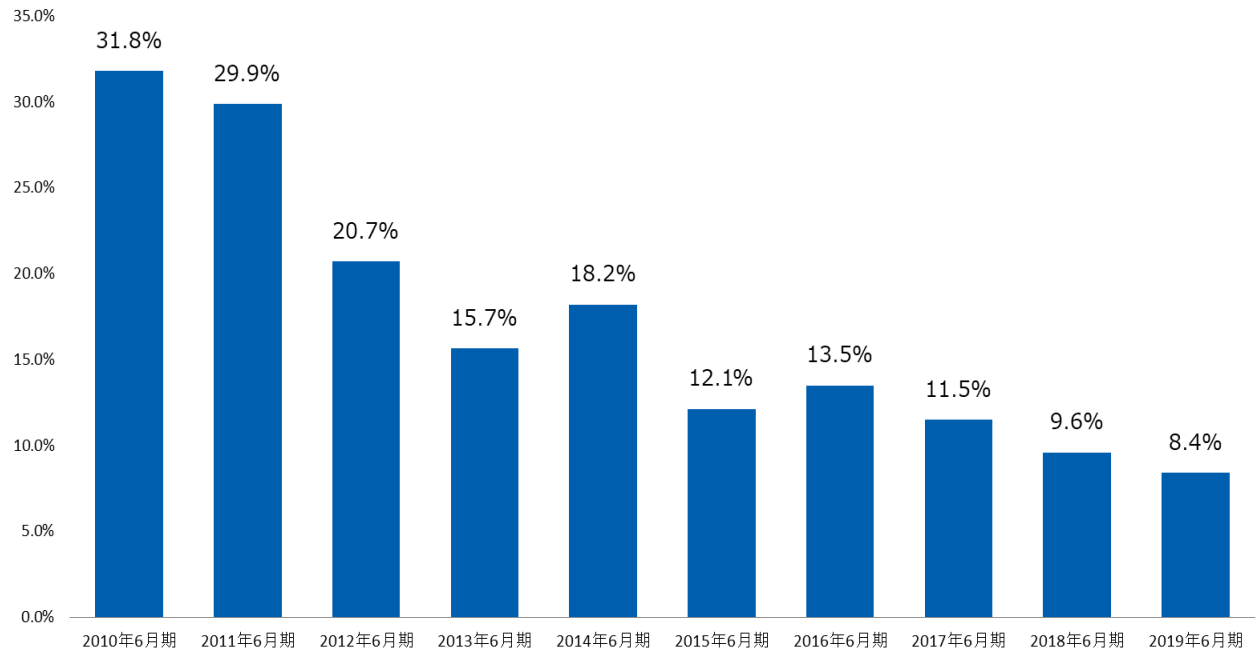


- 国内正社員の2Qの退職率は、年率換算で前期8.9%→当期7.7%（1.2ポイント減）

国内正社員の2Qの退職率（年率換算）



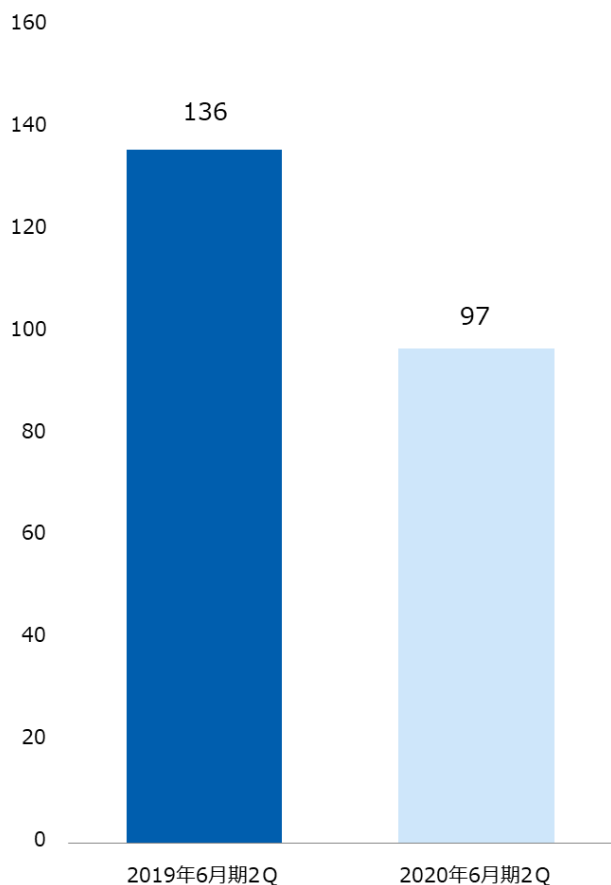
【参考】国内正社員の退職率の推移（年間実績）



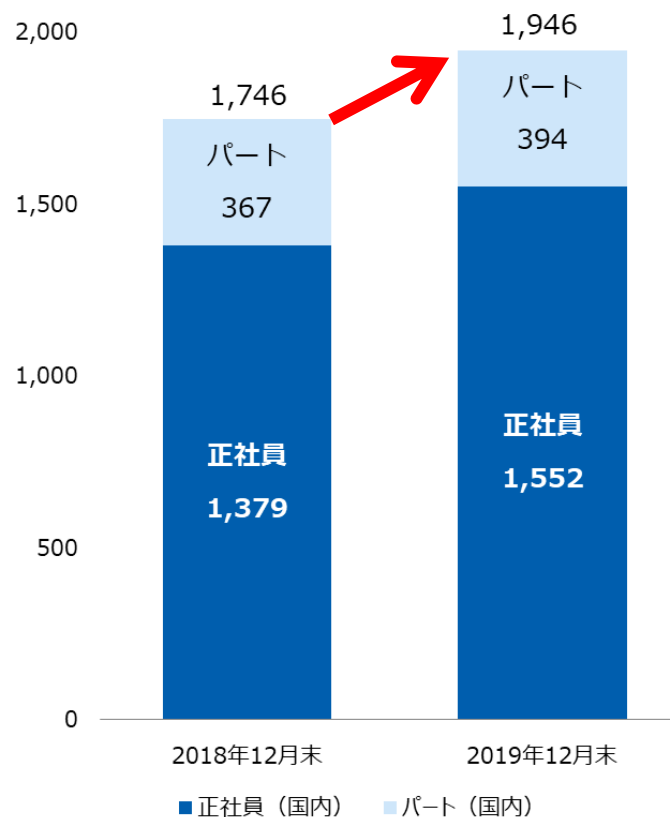
※本社は除く
※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

- 国内正社員の2Qの採用数は、前期の上場効果分が通常ペースに戻り、前期比39人減
- 国内の従業員数は、1年間で200人（正社員173人、パート27人）の純増

単位：人 国内正社員の2Qの採用数



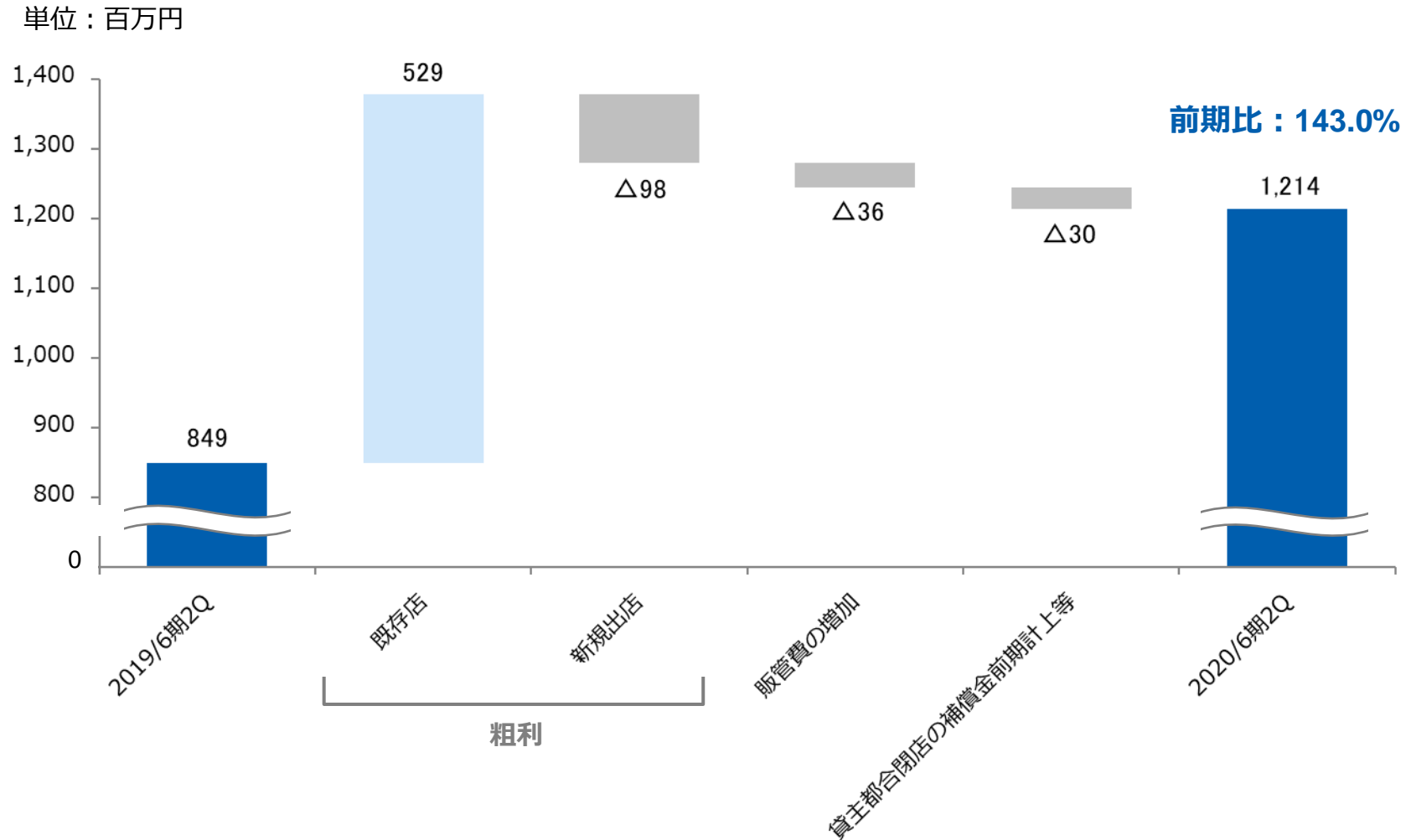
単位：人 2019年12月末の国内従業員数



※業務委託先店舗からの移籍および本社は除く、研修施設含む

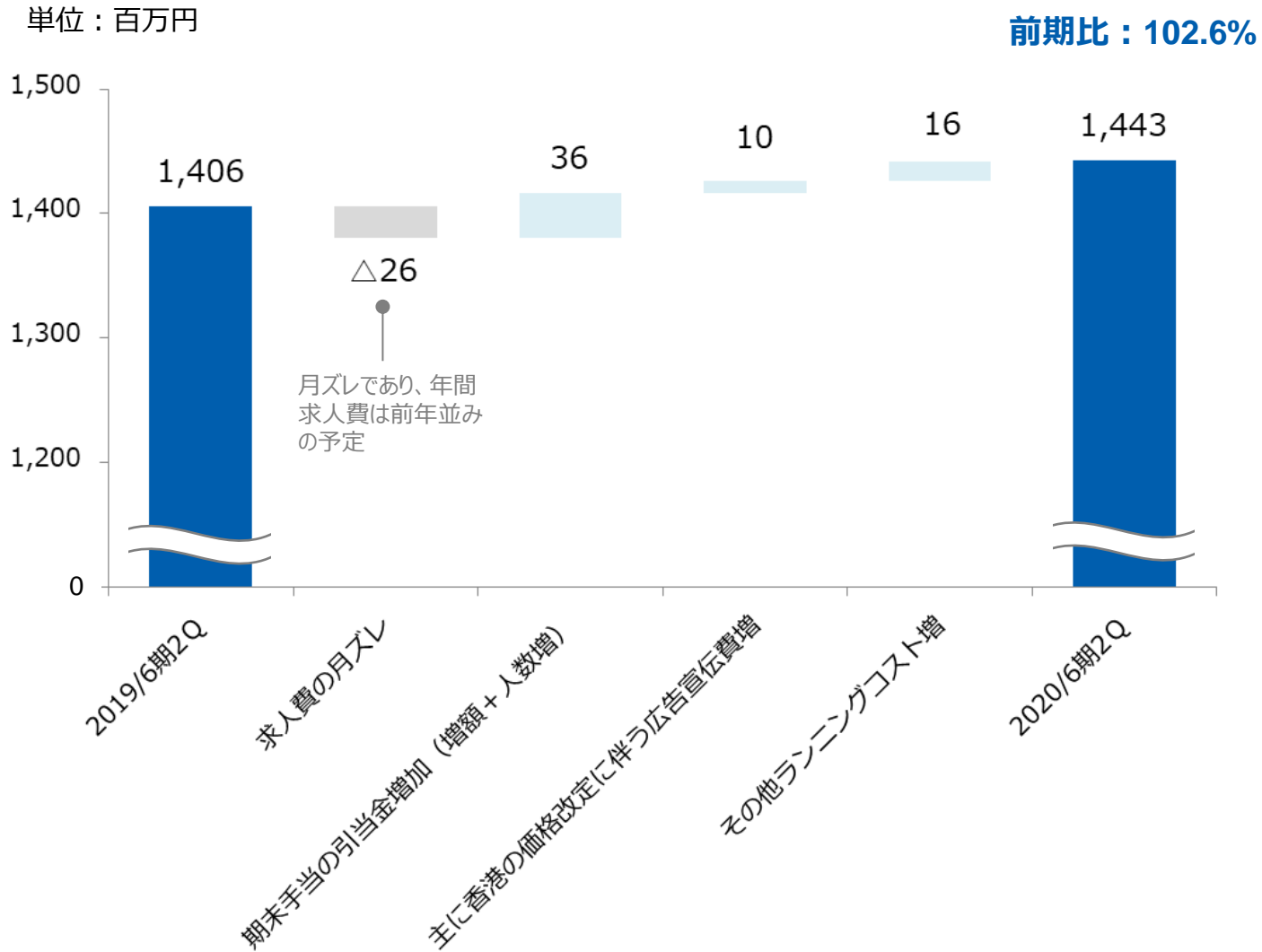
※業務委託先店舗からの移籍を含む、本社は除く、研修施設含む

- 営業利益については、粗利が大幅に増加した一方で、販管費が微増となったことにより、364百万円増益



※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

- 販管費については、求人費の月ズレにより減少した一方で、待遇改善の一環として増額した期末手当の引当金増加、香港の価格改定に伴う広告宣伝費増などにより微増



連結損益計算書

単位：百万円	2019/6期2Q		2020/6期2Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	10,092	100.0%	11,111	100.0%	1,019	110.1%
売上原価	△ 7,856		△ 8,443		△ 587	107.5%
売上総利益	2,235	22.2%	2,668	24.0%	432	119.3%
その他の営業収益	37		2		△ 34	
販売費及び一般管理費	△ 1,406		△ 1,443		△ 36	102.6%
その他の営業費用	△ 17		△ 13		3	
営業利益	849	8.4%	1,214	10.9%	364	143.0%
金融収益	7		8		1	113.7%
金融費用	△ 45		△ 76		△ 31	167.6%
税引前四半期利益	811	8.0%	1,145	10.3%	334	141.3%
法人所得税費用	△ 228		△ 384		△ 156	168.4%
四半期利益	582	5.8%	761	6.9%	178	130.7%

連結財政状態計算書

単位：百万円

	2019/6期 4Q末	2020/6期 2Q末	増減額
流動資産合計	3,982	4,020	38
現金及び現金同等物	2,489	2,539	49
営業債権及びその他の債権	1,160	1,160	0
棚卸資産	116	117	0
その他	215	204	△ 11
非流動資産合計	20,299	25,909	5,609
有形固定資産	2,327	1,922	△ 405
使用権資産	-	5,937	5,937
のれん	15,430	15,430	-
その他の金融資産	1,773	1,835	61
繰延税金資産	519	543	23
その他	248	240	△ 7
資産合計	24,282	29,930	5,648
負債合計	14,484	19,504	5,019
営業債務及びその他の債務	273	263	△ 9
有利子負債	11,253	10,913	△ 339
リース負債	465	5,948	5,482
その他	2,491	2,378	△ 113
資本合計	9,797	10,425	628
負債及び資本合計	24,282	29,930	5,648

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、前期「リース資産」は当期「使用権資産」に計上（△437百万円）

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等の「使用権資産」を計上

長期借入金の返済による減少（△350百万円）

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等の「リース負債」を計上

前期の未払法人税・消費税、期末手当等の支払による減少

当期利益計上（761百万円）
剰余金の配当（△237百万円）

連結キャッシュ・フロー計算書

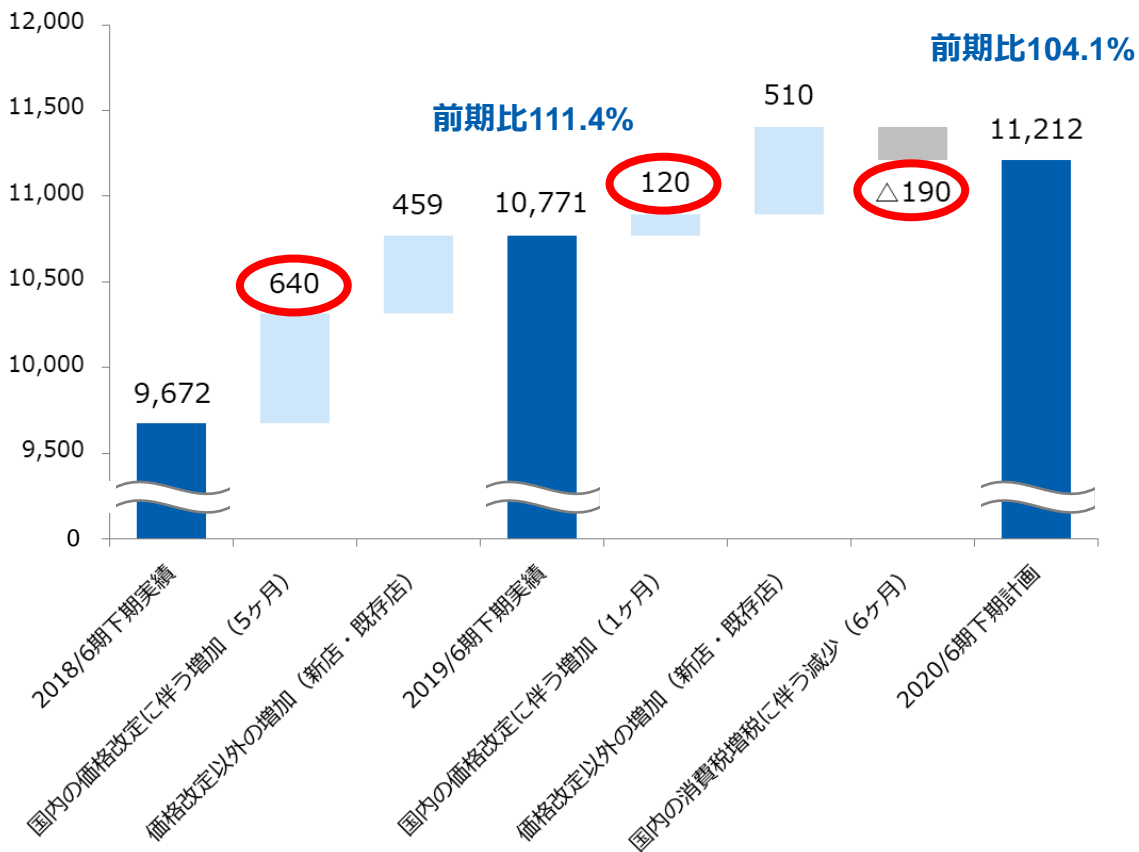
単位：百万円

	2019/6期2Q	2020/6期2Q	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	723	2,204	1,480	
税引前四半期利益	811	1,145	334	
減価償却費及び償却費	387	1,581	1,194	リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、使用権資産の減価償却費が増加（1,200百万円）
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△ 30	6	37	
利息の支払額	△ 40	△ 69	△ 29	
法人所得税の支払額	△ 286	△ 483	△ 197	国内キュービーネットの課税所得の増加に伴う支払増加
その他	△ 116	23	140	課税売上の増加に伴う未払消費税の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 582	△ 471	110	
有形固定資産の取得による支出	△ 481	△ 391	90	
無形資産の取得による支出	△ 22	△ 15	7	
その他	△ 77	△ 65	12	
フリー・キャッシュ・フロー	141	1,732	1,590	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 270	△ 1,706	△ 1,435	
短期借入金の純増減額（△は減少）	300	-	△ 300	
長期借入金の返済による支出	△ 350	△ 350	-	
配当金の支払額	△ 221	△ 236	△ 15	1株当たり配当額18円→19円
リース負債の返済による支出	△ 106	△ 1,269	△ 1,162	
その他	107	150	43	リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等のリース負債の返済が増加（1,183百万円）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 125	49	174	
現金及び現金同等物の当期末残高	1,893	2,539	646	

I 2020年6月期 第2四半期実績

II 2020年6月期 下期計画

単位：百万円

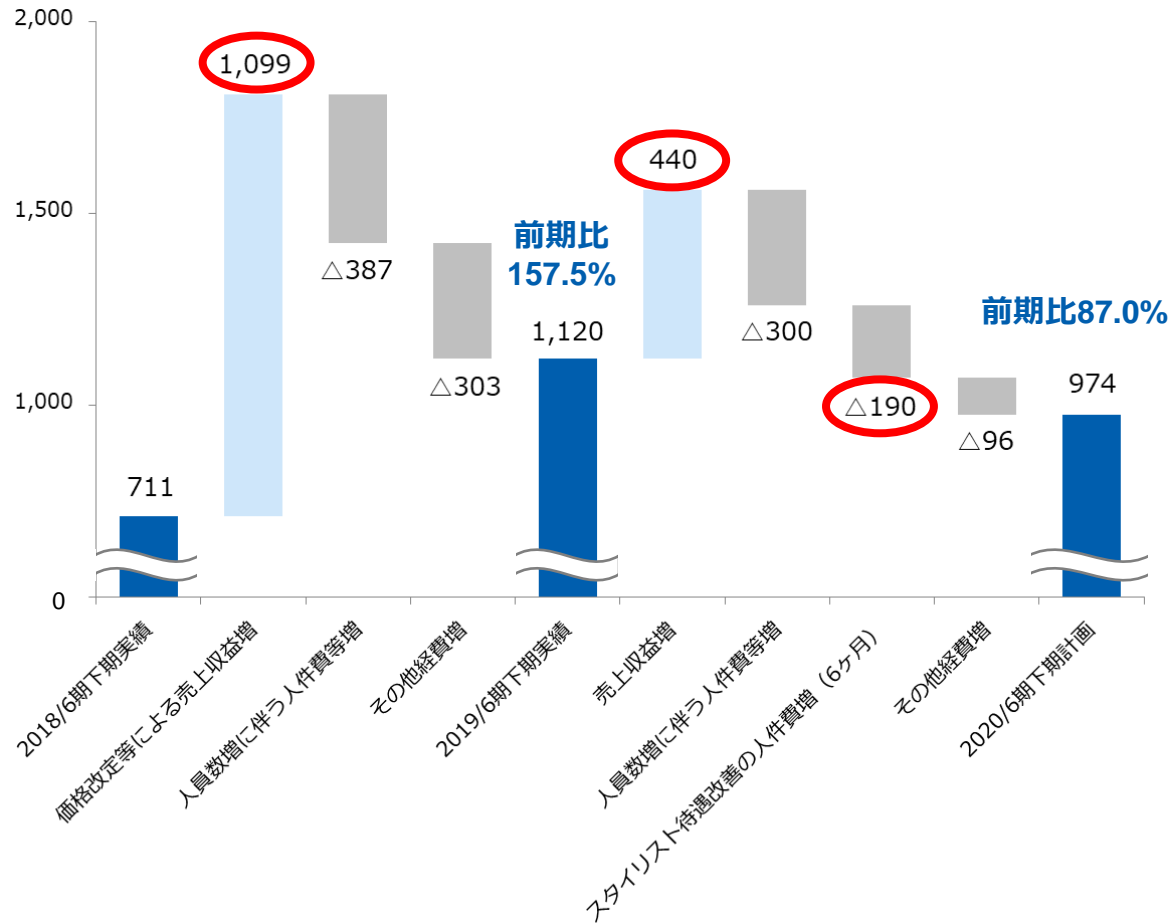


- 前期下期に比べ
- ・価格改定の影響**1月のみ**
 - ・増税に伴う売上**2%減**

前期比約 **104%**を
計画

※国内の価格改定に伴う増加は、売上の9%相当分で試算しております

単位：百万円



- 前期下期に比べ
- ・価格改定の影響1月のみ
 - ・増税に伴う売上減
 - ・スタイリストの待遇改善等により



**下期のみでは減益計画
前期がイレギュラー**

国内

- 既存店：サービスの質向上により来店客数の回復に努める
- QB HOUSE：年間25店舗の新規オープン、年間8店舗の移転を計画（上期に新店12店舗、移転4店舗の実績）
- FaSS：年間1店舗の新規オープンを計画
- 予約機能、電子カットカルテ、お客様アンケートの機能を持った「新アプリ」を開発中
- 上期に採用・定着プロジェクトを立ち上げ、さらなるスタイリストの確保に注力
- ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール（研修施設）の増設に備えて、教える側のトレーナー等の人員を増員予定（育成体制強化）

海外

- 香港では、年間4店舗の新規オープンの計画（上期に3店舗出店済み）
国内同様、サービスの質向上により価格改定に伴う来店客数減の回復に努める
- シンガポールでは、店舗移転を年間2店舗の計画（上期に1店舗移転済み）
- 台湾では、採用面の改善を受けて、年間3店舗の新規オープンの計画（上期に1店舗出店済み）
- アメリカ（ニューヨーク）では、年間2店舗の新規オープンの計画（2020年1月に4号店を出店済み）



ニューヨーク4号店 Flatiron(23丁目)

QBHOUSE



Appendix

～ご案内～
ADULT ¥ 1,800 (incl. tax)
CHILD ¥ 1,000 (incl. tax)
BABY ¥ 500 (incl. tax)
GRANDPA ¥ 1,000 (incl. tax)
GRANDMA ¥ 1,000 (incl. tax)

		2019年6月期 実績	2024年6月期 目標
業績	売上収益	208億円	300億円 (年間平均 7.5%成長)
	営業利益	19億円	33億円 (年間平均 10.9%成長)
	営業利益率	9.4%	11%
財務	長期借入金残高	112.5億円	50億円
	ROE	13.8%	13%以上の維持
	ROIC (使用権資産影響を除く)	6.6%	10%以上
経営指標	店舗数 (国内)	567店舗	700店舗
	店舗数 (海外)	127店舗	200店舗

	実績		計画			目標
	2018/6期	2019/6期	2020/6期	2021/6期	2022/6期	2024/6期
単位：億円						
売上収益	192	208	223	237	250	300
国内	161	175	187	197	206	245
海外	31	33	36	40	44	55
営業利益	16	19	22	24	26	33
税引前利益	15	18	21	23	25	31
当期利益	10	12	14	16	17	21
売上高成長率	7.3%	8.2%	7.1%	6.3%	5.7%	平均成長率→ 7.5%
海外売上比率	16.2%	15.8%	16.3%	17.0%	17.7%	18.3%
営業利益率	8.5%	9.4%	9.8%	10.5%	10.5%	11.0%

店舗計画（中期経営計画）



		実績		計画			目標
単位：店舗	業態	2018/6期末	2019/6期末	2020/6期末	2021/6期末	2022/6期末	2024/6期末
日本	QB HOUSE	541	554	573	598	623	670
	FaSS	11	13	14	17	20	30
	QB PREMIUM						
国内小計		552	567	587	615	643	700
シンガポール	QB HOUSE・Kids QB HOUSE Premium	36	36	38	40	40	40
香港	QB HOUSE QB PREMIUM	57	61	64	68	72	80
台湾	QB HOUSE	24	27	30	34	38	50
アメリカ（NY）	QB HOUSE	2	3	5	7	9	15
新地域					1	4	15
海外小計		119	127	137	150	163	200
連結グループ合計		671	694	724	765	806	900



本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

